

2026年度 第1回 日産京都自動車大学校教育課程編成委員会 会議報告書

1. 開催日時
2. 開催場所
3. 出席者

2026年7月 2日（木） 10:00－12:00

日産京都自動車大学校

（自動車整備領域）	団体代表	乗地 博之 様	京都府自動車整備振興会 教育課 課長（一級工学科、自動車整備科兼任）	
	（学校外委員）企業代表	土井 広行様	兵庫日産自動車株式会社 技術支援部 部長	（一級工学科担当）
	企業代表	平松 由揮 様	滋賀日産自動車株式会社 大津店 副店長	（自動車整備科担当）
	企業代表	ゴータイ ソン 様	兵庫日産自動車株式会社 採用・人財育成部	（国際自動車整備科）
（車体整備領域）	団体代表	岩本 宏成 様	京都府自動車車体整備協同組合 副理事長（ボディリペア科、カスタマイズ科兼任）	
	（学校外委員）企業代表	桑島 久史 様	日産自動車株式会社 グローバルサービスエンジニアリング部	（自動車整備・ボディリペア科担当）
	企業代表	田口 幸弘 様	京都サービス株式会社 久御山工場 工場長	（自動車整備・カスタマイズ科担当）
（学校内委員）	学校長	松川 健一		
	教頭	鳥井 英雄		
	課長	清水 昭一	教育部 自動車整備課・国際科	
	課長	大村 哲嗣	教育部 一級課・車体課	
	課長代理	稲 和樹	教育部 自動車課	
	課長代理	佐藤 友彦	教育部 自動車課	
	課長代理	井上 恵太	教育部 自動車課（国際科）	
	課長代理	遠藤 博之	教育部 一級課	
	課長代理	民野 武史	教育部 車体課	
	課長代理	当麻 範嗣	教務課	
（学校内委員）	教頭	鳥井 英雄		
	課長代理	遠藤 博之	教育部 一級課	

4. 欠席者

5. 議 題

(1)2025年度活動計画報告

1) 2025年度卒業生アンケート結果(担当:大村)

- ・2025年4月入社の日産校卒業生に直接指導されている方を対象としてアンケートを実施した。
- ・京都校 対象者:107名 回答数:101名 回答率:94.4%
- ＜2級課程及びその他の課程（一級課程除）＞
- ・整備技術力について、前年度に比べて平均で0.02ポイント上昇した。項目別では23項目中12項目が低下、11項目が向上となった。
- ・もっとも低下した項目が、『AT(CVT)オイルの量、汚れ点検』が3.68ポイントで前回より0.28ポイント低下した。
- ・もっとも向上した項目が、『車両への気配り(車両保護等)』が3.60ポイントで前回より0.34ポイント向上した。
- ・対応力/日常業務について、平均で3.85ポイントと前年より0.13ポイント向上した。
- ・特に『TPOに応じた挨拶をしている』項目が4.14ポイントと高評価であった。

＜一級課程＞

- ・整備技術力について、前年度に比べて平均で0.02ポイント上昇した。項目別では26項目中11項目が低下、15項目が向上となった。
- ・もっとも低下した項目が、『ESM(整備要領書)の基本的な取り扱い・操作』が3.32ポイントで前回より0.68ポイント低下した。
- ・もっとも向上した項目が、『サークルチェックによる車両確認』が4.13ポイントで前回より0.58ポイント向上した。
- ・対応力/日常業務について、平均で3.91ポイントと前年より0.04ポイント低下した。
- ・特に『我慢強く、簡単に諦めない』項目が4.00ポイントと高評価であった。

2) 国家試験結果

国家二級(ガソリン&ジーゼル)、国家一級、国家車体のすべてで全員合格した。

3) 各課の取り組み

I 自動車整備科

- ・ 2級自動車整備士(総合)に向けた取り組み
- ・新テキストの分析(旧テキストから削除された項目、名称変更、新規項目の洗い出し)、授業の改訂
- ・登録試験対策問題の改訂(新テキストの分析より新問題の予測を実施、過去問題より2輪車対応問題を抽出)
- ・学習シート(日産校オリジナルの学習アイテム)の改訂、2輪分野の新規作成
- ・2輪教材の開発 2輪課程のある他メーカー校の視察の実施、どのような教材が必要か検討中

II 国際オートメカニク科

- ・ 自動車の学び
- ・話すスピード、話し方に気を配り、理解度を確認しながら授業運営を行う。ルビ付き資料を使用し専門用語などに慣れてもらう。
- ・ 日本語の学び
- ・JLPT受験対策 外部講師による日本語講座、放課後補習、LTW(日本語学習アプリ)による課題提示と進捗管理
- ・ 採用試験対策
- ・早期動機付け、外部講師による就職セミナー実施。専門用語、独特の表現に対応したミニテストなど
- ・2027年3月卒業生就職内定100%達成(内、日産圏企業88.7%)
- ・ 国家試験対策 受験者全員合格を目指す
- ・現3年生は初の10月受験となるため、合格に向けての学習イメージ、動機付けを実施している。
- ・3年次の学科授業は国家試験に直結するカリキュラムとする。

III 一級自動車工学科

- ・ 卒業研究
- ・研究活動4テーマで取り組む 主体的に取り組む、知識向上に限らず、課題解決力、コミュニケーション力の向上につながった。
- なかでも、『中学校授業(中学生に興味を持ってもらえるプレゼン力向上について研究)』に力を入れている。
- ・学生フォーミュラ 残念ながらオートクロスでリタイアとなったが、総合成績では209.1点を獲得し、2024年の175.1点を上回った。順位もEV部門で13位/25チームで専門学校の中ではトップとなった。
- ・ Dr. Kプロジェクト(学生によるお車安心無料点検:八丈島)
- ・日産5校の取り組みで京都校からは一級3年の6名の学生が参加した。41台の点検を実施し、島民の皆さんの安全に貢献できた。

IV 自動車整備・ボディリペア科・自動車整備・カスタマイズ科 3年

- ・ 日産資格 車体士3級、塗装士3級 いずれも全員合格した。問題に関する内容を実習で行い記憶として印象に残るよう取り組んだ。
- ・ 電子制御装置等の整備主任者講習 講習制度を受講して以来初めて全員一発合格した。
- ・ 1年の集大成として自分の車や家族の車を持ち込み、小さな線キズから全塗装まで希望の作業を実施している。
- 技術だけでなく、期限を守ったり、グループで大がかりな作業をすることでリーダーシップやチームワーク、時間管理を学んだ

V 自動車整備・カスタマイズ科

- ・ 大規模モーターショーにカスタマイズ車両の制作、出店を通して主体性を持った人材育成する教育プログラムとして教育手法を検討、改善した。
- ・ 東京オートサロン、大阪オートメッセ等への出展を目標に活動、板金塗装の技術向上のみではなく、自主性主体性を育み、社会に出て活躍できる人材となっている。

(2)2025年度第2回の委員会でのご意見に対する取り組み

- ・現場では「受付→用命→中間報告→結果説明」という流れを重視している。これらを授業に織り込んでほしい。(一級自動車工学科:高等技術への提言)
→4年次最後の故障診断実習を一連の流れで実施。6種類の不具合を実習課題してロールプレイング形式でお客様へ説明するところまでを織り込んだ。
 - ・EV車のバッテリーパック分解など、高電圧作業における安全管理の基礎知識を習得させてほしい。(一級自動車工学科:高等技術への提言)
→電動パワートレイン授業の充実として2026年度10月より新たにバッテリー分野(電動PT/バッテリー整備)の授業を実施する。現在、教員が習熟中である。
 - ・車体整備士(3級)および塗装試験の合格に向け注力してほしい。(ボディリペア科・カスタマイズ科への提言)
→実習授業で技術習得制度テキストの使用を増やして、実際の作業で確認できるようにし、より記憶に残るようにしている。試験に向けての学習を早期(10月中旬)より開始し、低位層の学生に対応できる体制をとった。
- 東京オートサロン等出店時はコンセプトを明確にした取り組みを継続してほしい。(カスタマイズ科への提言)
- コンセプト講座を行い、ターゲットカスタマーを具体的に設定。どのような車を求められているかを調査して方向性を決めている。迷ったときは基本に立ち返り、考えるようにしている。
- ・10月の国家試験全員合格前提とし、残り半分の点検・ブレーキ整備の強化案について(国際オートメカニク科3年後半カリキュラムについての提言)
→国家2級整備士試験の不合格者の補習と並行する後期プログラムを3年間の学習のまとめとして、受け身の学びから自ら考え行動できる整備士を目指すコンセプトに設定課題と自由設定課題を設定することとした。
設定課題では、作業実務を中心に設定し、これまでに習得した技術知識を生かし課題に取り組む。自由設定課題では、興味関心に基づいたテーマをそれぞれで決め、調査、まとめ、発表する力をつける。

(3)今年度の活動について

- 1) 学生の身だしなみ指導の変更について(全科対象)
・グローバル化が進む社会において、人種、文化的背景など多様な価値観を互いに認めあう姿勢が求められています。
本校においても画一的なルールで学生を管理するのではなく、学生自身がTPOも応じた適切なふるまいを自ら考え判断する力を養うという目的で服装や髪型等に関する規定を緩和しました。
実習中等安全にかかわる部分は引き続き指導しています。先日就職フェアでは、企業の方が来校される機会をとらえ、このような場合は、就職活動にふさわしい身だしなみを指導しています。
- 2) 授業力・指導力向上プロジェクトについて(整備科、国際科)
・高校の先生や保護者が安心して任せられる良い先生＝良い学校ということで、教員の質の向上を目指す。3年かけて『教員のプロ化』を推進する。
- 3) 一級工学科の新しい取り組みについて(一級科)
・2027年度より一級自動車整備士(総合)の課程が始まるため、新課程のカリキュラムを策定する。新教科書を分析し、3年生の授業内容を完成させる。
・一級自動車工学科3、4年生の魅力ある実習授業を開発する。一級科入学希望者を増やすため、広報課職員をメンバーに迎え多角的に活動する。
- 4) 今年度制作するカスタムカーについて(車体科)

5. 議 論

1) 結 論

- 2)意見交換と質疑応答
- 今回の教育課程編成委員会にて、議題について委員からご意見をいただくことができた。
いただいたご意見をよく検討し、次年度の授業内容、教育方法などに織り込みながら教育の質の向上を図っていく。

種別		項目	所属	質問者	主な意見、質問
(1) 1)	FY25卒業生アンケート	一級課程 整備技術力	京都府自動車整備振興会	乗地様	FY23はレベルが高いのはなぜか。 →FY24、25は整備科など別の課程と合同クラスの為、レベルが平準化したと考えている
(1) 3)	各課の取り組み	2級整備士(総合)に向けた取り組み	滋賀日産	平松様	次年度取得者の入社が楽しみ。現場でも2輪車の知識は必要。
			兵庫日産	土井様	3級の内容も変わるのか。 →テキストの進級比較を実施し、改訂内容を洗い出している。授業に組み込む。
		国メカ科 留学生対応	兵庫日産	ゴータyson様	ルビ等日本語習熟の取り組みは良い。 JLPTN2受験は、任意受験か。強制か。 →強制はしていないが、学生さんのためにも推進をしている
		一級工学科 卒業研究	兵庫日産	土井様	卒業生が入社しているが、中学授業を体験している人が人前で話すのに大変役立っている。 ボディ剛性の研究やエアクリナーの研究などは、パワーアップにつなげるための研究ではないのか。 →彼らの興味関心は、ねじり剛性の変化や各パーツの寄与度、素材の違いがフィルタ機能の性能に与える違いにある。 いい取り組みをたくさんやっていると思う。引き続きやってほしい。
		BRCZ科 資格取得	日産自動車	桑島様	日産資格(車体士3級、塗装士3級)の取得は、日産販売会社でのステップアップに役立つので、継続して取り組んでほしい。
		BRCZ科 卒業実習	京都府車体整備協同組合	岩本様	自分の車や家族の車ではなく、友達や知人等、他人の車だと失敗できないプレッシャーもあるので、力になるのでは。
		CZ科 カスタムカー出展	京都サービス	田口様	メディアにも取り上げられ、知名度を上げていると思う。 ナンバーが取得できる車を作るというのは、法規や基準をどうやって確認しているのか。 →検査場で予備検査をうけ本局でナンバーを取得している。仮定でナンバーが取得できるレベルの車ではなく、本当にナンバーを取得しています。
2)	FY25第2回委員会での提言対する取り組み	一級工学科 現場作業を想定した実習	京都府自動車整備振興会	乗地様	即戦力になるので助かります。期待しています。
		一級工学科 電動PT授業の充実	兵庫日産	土井様	高電圧バッテリーパックの脱着等実施した実習車をもう一度走らせるのか。 →電圧をさげて安全に実習する。別のものでそれぞれの実習を行う。
		車体科 NBC車体士3級、塗装士3級合格への取り組み	日産自動車	桑島様	大変良い取り組みだと思う。 留学生は在籍しているのか。車体領域は特殊な専門用語が多いが大丈夫か。 →留学生は、在籍している。当校で学んで3年目なので、何とか理解している。わかりやすいように実物で説明している。
			京都サービス	田口様	資格の学習で板金と塗装の理解度の偏りはあるか。 →それほどない。実技では好き嫌いや得意不得意がある。塗装が好きな人が多い。
		国メカ科 3年後期カリキュラム	兵庫日産	ゴータyson様	工夫していただき、関心を持っている。 受付対応等取り組んでいただき感謝します。 先輩や同僚とのやり取りのロープレは、取り込めないか。質問の仕方、話し方等。対お客様ではなく、社内のコミュニケーション力向上を図ってほしい。
3)	今年度の活動について	身だしなみ	滋賀日産	平松様	TPOを自分で考えるようにするというのはいい。
			兵庫日産	土井様	ルールを変えてからどうだったか。 →最初は、いきなり金髪やピンク髪で現れたときは、驚いたし、心配になった。学生同士は、怖がったりすることなく普通に接していた。先日の就職イベントで企業様が来校されるときは戻しており、学生のみなさんはTPOをわきまえていると感じた。
		教員の授業力、指導力	兵庫日産	土井様	難しい課題だと思う。 入れ替わりもあるし、クオリティを維持するのが大変だと思う。企業にも同じ課題がある。成功したら、アドバイスをください。
			京都府車体整備協同組合	岩本様	オリジナルの教え方があるのだと思う。マニュアル化できて、平準化できればとてもいい。
		2027年度からの一級(総合)に向けての取り組み	京都府自動車整備振興会	乗地様	総合が始まったら、一級の10月試験も導入される。受験する予定はあるか。 →カリキュラムの関係で10月受験は考えていない。
		高度技術への提言から	滋賀日産	平松様	電子整備記録簿が導入になるので使えるようにしてきてほしい。
			兵庫日産	土井様	兵庫日産では、2025年1月から導入になっているが、慣れないのか不便に思っている社員が多い。紙の整備記録簿と両方作成することから始め、徐々に移行していつている。
		車体科 FY26の制作車の紹介から	京都府車体整備協同組合	岩本様	社会に出るとなかなかできない経験、機会ですので、この体験を充実させ、社会に出た後に生かしてほしい。
			日産自動車	桑島様	車検を通すのが大変そうな2台ですが、ぜひ頑張ってください。